

がれき類の収集運搬で全国トップクラスの実績を誇る黒姫(東京・足立、渡辺明彦社長、☎03・3896・7111)は先月、従業員がASK(アルコール薬物問題全国市民協会)から飲酒インストラクターの民間資格を取得。社内や顧客、地域に向けて飲酒の怖さ、適度な飲酒のあり方を啓発する方針を固めた。

資格を取得したのは営業担当の分田貴幸氏。「ネット上で調べ物をしていた時に、ASKのアルコール問題への取り組みを知り、顧客だけでなく社会からの信頼を高めるために資格取得の必要性を感じた」と言う。

黒姫

内外の安全啓発に活用

飲酒インストラクター取得

アルコール濃度の基準値を厳しくする傾向にある。アルコール摂取量には単位があ



社内勉強会のような(正面が分田氏)る。これまでに1000人超を輩出し、アルコール1単位と体質、酔いの正体と運転への影響、寝酒の落とし穴

り、缶ビール500ミリ2本分で2単位に該当し、同量で飲酒から基準値以下に下がるのに8時間かかる。1日3単位以上の摂取で発ガンリスクが高まるとされ、酒類だけでなく栄養ドリンクにも0・1%未満の濃度でアルコール(エタノール)を含んでいる。インストラクターの資格は、1年間の研修や試験、レポートを通じて取得す

と節酒のコツ、アルコール依存症の予防と早期発見などを啓発していく。渡辺社長は「道交法の規制が厳しくなると、IT化が進むと思う。対面チェックだけでなく、パソコンに免許リーダーを入れ、一人ひとりをアルコール検知機でチェックを行ってある」と語る。今後はISOのPDCAの取り組みと運動させて、啓発を促す。